

# 水戸とゆかりのある偉人 渋沢栄一を知っていますか



徳川齊昭

藩政改革を進めた  
水戸藩第9代藩主

令和3年のNHK大河ドラマ「青天を衝け」の主人公となっている渋沢栄一。多くの企業設立や公共事業などに携わり近代日本資本主義の父と呼ばれています。青年期には一橋徳川家の家臣・幕臣として、徳川慶喜公に仕えていました。若いころ水戸の学問や思想に大きく影響を受けたと、晩年に語っている栄一。特に藤田東湖への尊敬の念は深く、東湖の著した『回天詩史』『常陸帯』などを愛読していました。

仕える

茨城県立歴史館蔵



徳川慶喜

齊昭公の七男  
江戸幕府第15代将軍



徳川昭武

齊昭公の十八男  
水戸藩第11代藩主



武田耕雲斎

藩の要職を歴任した  
改革派の水戸藩士



藤田東湖

齊昭公が重用した  
水戸藩を代表する学者

仕える

慶喜公に家臣として仕えていた栄一は、大政奉還後も、生涯にわたり交流を続けた。

パリ万博に出席した昭武公に随行。西欧の文化や技術にふれ、攘夷ではなく諸外国の優れた部分を吸収すべきと考えるようになる。

東湖など水戸の学者から思想的に影響を受けた。

## ▼パネル展「渋沢栄一と水戸の人々」

期間／2月8日(月)～12月26日(日)

場所／水戸城跡二の丸展示館

料金／無料

問合せ／市歴史文化財課(☎306-8132)

## ▼弘道館パネル展「渋沢栄一と弘道館」

期間／2月13日(土)～12月19日(日)

場所／弘道館

入館料／大人400円、小・中学生・満70歳以上200円

問合せ／弘道館事務所(☎231-4725)

※1月21日時点の情報です。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開催期間などが変更となる場合があります。



渋沢栄一70歳のときの写真  
渋沢史料館蔵

渋沢栄一

天保11(1840)年—昭和6(1931)年

日本初の株式会社設立をはじめ、500社以上の企業の設立に関与。多くの学校設立に関わるなど社会福祉・教育分野でも功績を残した。